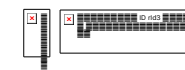


日独の若者文化・ライフスタイルの研究への助成 ～若手研究者の国際化支援の取り組み（事例紹介）

- ・ 雪野弘泰（山岡記念財団 常務理事）



第1回、助成研究 報告会

2019年3月19日



京都大学 楽友会館会議室



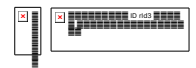
研究報告：日本人研究者2名、ドイツ研究者2名



パネルディスカッション：報告者4名、研究者4名



懇談会



山岡記念財団 設立趣旨

ヤンマーの創業者である 山岡孫吉翁は、ドイツでディーゼルエンジンに出会い、そのことがきっかけで、世界初の小型ディーゼルエンジンを開発に成功し、ヤンマー事業の礎を築きました。ルドルフ・ディーゼル博士ならびにドイツへの感謝の念を深く抱くとともに、日独の文化交流の重要性を強く認識し、日独文化交流のために力を尽くしました。

本財団は、創業者の思いを引き継ぎ、継承するために設立されました。次世代を担う若者を中心に多方面にわたる日独の文化交流により、持続可能な社会の実現に貢献します。



アウグスブルグ ディーゼル記念石庭

2016年11月14日
一般財団法人山岡記念財団
理事長 山岡 健人

ヤンマー 概要

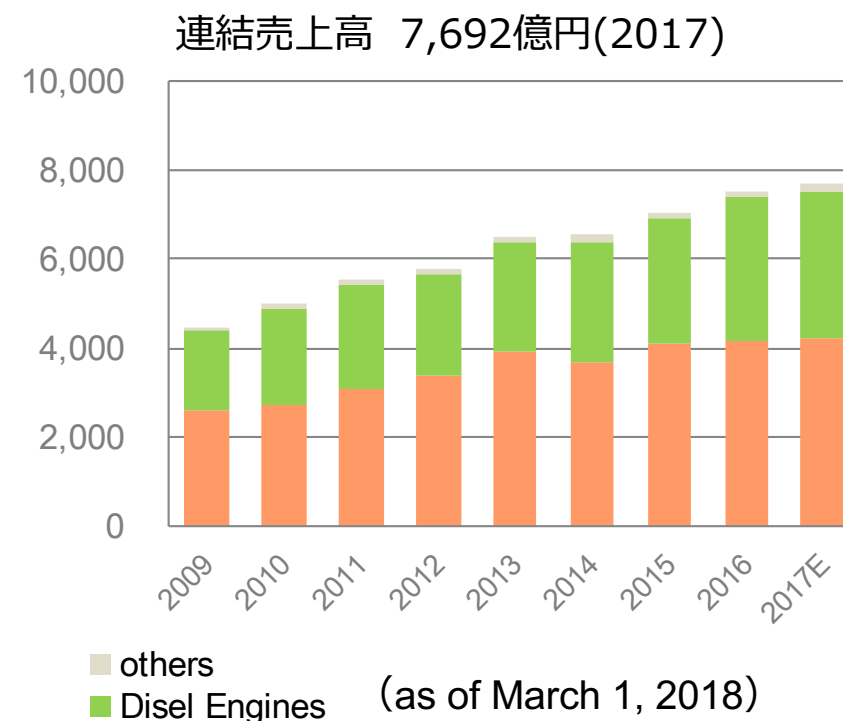
商号	ヤンマー株式会社
本社所在地	大阪市北区茶屋町1-32 YANMAR FLYING-Y BUILDING
創業	1912年3月
資本金	63億円
創業者	山岡 孫吉
代表取締役 会長 兼 社長	山岡 健人
従業員数（連結）	17,974名（2016年3月31日現在）



現社長 山岡健人



創業者 山岡孫吉



山岡記念財団 事業領域



場作り

学術

- ・日独の自然科学、人文科学
若手研究者の交流の場の提供

芸術

- ・ドイツ留学の新進芸術家の発表の場の提供
- ・次世代を担う若者に世界のトップレベルに触れる機会の提供

スポーツ

- ・サッカーにおけるドイツと日本（セレッソユース）の交流

人的交流

- ・ドイツ人から見た日本、日本人からみたドイツ
- ・賛助会員、ドイツ旅行



事業紹介

学術

第3回 科学技術講演会 & 交流会

～再生可能エネルギーの技術的対応とスマート活用～

- 開催日時 : 2019年3月27日(水)
- 会場 : 京都大学、国際科学技術イノベーション棟
- 講演
 - ・ヨハン・ザートホフ (Büro Johann Saathoff) 氏
ドイツ連邦議会議員
連邦議会の経済・エネルギー委員会の委員
 - ・中岩 勝 氏
国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所長 工博
- 総合討論、パネリスト
 - ・手塚 哲央 教授 京都大学大学院エネルギー科学研究科
エネルギー社会・環境科学専攻
 - ・田口 彰 氏 株式会社タクマ
エンジニアリング統轄本部 執行役員 技術センター長
- 入場者数 : 163名



来賓挨拶 ケーラードイツ総領事



ザートホフ氏 講演



中岩氏、講演



総合討論



講演会后、ホワイエでの交流会

芸術

人的交流

中高校吹奏楽部 公開レッスンコンサート
(尼崎市／長浜市)

ドイツ在住：大植英次氏によるレッスンコンサート



アウクスブルク市/尼崎市
姉妹都市提携60周年記念式典
2019年 5月10日
アウクスブルク市庁舎



事業紹介

学術

第1回 研究助成報告会：ワークショップ 「日独の若者文化・ライフスタイルの研究」 ～日本とドイツのメディアカルチャー～

- 開催日時：2019年3月19日（火）
- 会場：京都大学、楽友会館
- 研究発表① 日独間アナログ・ゲーミングの非対称フロー
ビヨン＝オーレ・カム 氏

研究発表② ポップス教育大国、DDRを解剖する
高岡 智子 氏

研究発表③ 日本とドイツにおける世界的な
ホスピタリティ・ネットワーク
ルイーゼ・シュトルテンベルク 氏

研究発表④ ドイツのメディア論とメディアアート
梅田 拓也 氏

＜総合討論＞：コーディネーター（若手研究者：院生クラス）
川本 彩花 氏、佐藤 理 氏、中村 徳仁 氏、中谷 勇哉 氏

- 参加者：41名



助成プログラムの概要

1. 研究テーマ「日独の若者文化・ライフスタイルの研究」

- (1) 映画・音楽・漫画・アートなどに関わる文化・消費活動の動向
- (2) ファッション・食生活・居住形態などに関わる生活実態の動向
- (3) 教育・労働・恋愛・結婚などに関わるライフスタイルの変容
- (4) 移民・マイノリティ・ジェンダー・環境などに関わる社会意識・運動の変容

2. 助成対象

- (1) 個人研究、グループ研究のいずれも可
- (2) 申請代表者・メンバーの国籍・所属は問いませんが、日本またはドイツに在住する研究者で、2019年1月10日現在40歳未満の研究者に限る。
- (3) テーマに沿った人文社会科学的な研究が助成対象

3. 助成金額及び助成対象期間

- (1) 個助成金額 : 1件につき30万円 採択件数 : 4件（予定）
- (2) 助成期間 : 2019年4月1日～2020年1月31日の10ヶ月



選考プロセス、基準

1. 募集期間 : 9月から、翌年1月末（5ヶ月間）
2. 選考方法 : 選考委員会（弊財団の諮問委員による）

【評価項目】

テーマ独創性／テーマ妥当性／研究計画の妥当性／申請者の研究実績

3. 助成の決定 : 翌年2月（研究成果報告会時）
4. 助成金の支払い : 翌年4月に一括
5. 報告書の提出、発表
シンポジウムでの発表（交通費等支給）
研究終了後、研究成果報告書（論文代用も可）と収支報告書



2019年度 研究助成テーマ（5件） 応募件数15件

林 祐一郎 : 京都大学大学院 文学研究科 修士課程一回生
「日本のマンガにおける前近代ドイツ表象と「新しい中世」

富永 京子 : 立命館大学 産業社会学部 准教授
「日独の若者におけるライフスタイルを通じた政治と社会運動」

高橋 かおり : 立教大学 社会情報教育研究センター 助教
「ドイツ在住日本人芸術家のキャリア形成に関する比較研究」

シュテファン・ヴァルター・ブリュクナー : 慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科
研究助手・博士課程在籍
「国境を越えるビデオゲーム文化：ドイツと日本におけるゲーマー体験の違いについて」

ティモ・テーレン : 金沢大学 国際学類 講師
「日本の若者のドイツ体験に対するマンガとアニメの影響について」



課題と今後の方向性

今後の方向性

- ・日独に関連する人文科学的な研究（若者文化）に特化した助成
- ・次世代若手の育成（双方向コミュニケーション）
- ・ドイツ（ベルリン）での開催

課題

- ・使用言語：申請書（日本語、英語、ドイツ語）
研究報告書（日本語、英語）
発表資料（日本語、英語）
- ・開催場所：日本
- ・成果の開示方法 ホームページ（刊行物）

